



2025 年 9 月 29 日

各 位

会社名	株式会社イオレ		
代表者名	代表取締役社長兼 CEO	瀧野 諭吾	
	(コード：2334、東証グロース)		
問合わせ先	取締役 CFO	貞方 渉	
	(TEL. 050-5799-9400)		

Slash Vision Pte. Ltd.との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、2025 年 9 月 26 日開催の取締役会において、日本初、国内法に唯一準拠し、セルフカストディ方式 ※1 で暗号資産・ステーブルコインを利用できるクリプトクレジットカード『SlashCard』の開発・提供を行う Slash Vision Pte. Ltd.（シンガポール、CEO 佐藤 伸介、以下「Slash Vision」）との間で、暗号資産金融事業における資本業務提携を行うことについて決議し、本日付で Slash Vision との間で普通株式引受契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

※1 利用者自身が秘密鍵を管理し、第三者（取引所や事業者）が資産を預からない形態

記

1. 資本業務提携の理由

当社は、2025 年 8 月 14 日に公表した中期経営計画において、暗号資産金融事業を中核に位置づけています。新たな暗号資産を基軸とした次世代金融インフラを創出することを戦略方針とし、単なる暗号資産の保有にとどまらず、取得及び保有している暗号資産の事業活用による収益及び企業価値の拡大を目指しております。具体的には、暗号資産トレジャリー（自社での暗号資産取得・保有による財務基盤強化と経済規模拡大）と暗号資産レンディング（市場から一定の金利をもって暗号資産を調達するデッドファイナンスでの財務強化）の2つの戦略的資金調達を推進し、保有する暗号資産を運用することによって、暗号資産の値上がりによる資産価値の上昇だけでなく、運用収益の獲得も行います。

将来的には DeFi（分散型金融）等へシームレスにアクセスできる次世代金融プラットフォーム構想である「Neo Crypto Bank」の具現化を段階的に進める予定としております。

こうした方針や計画のもと、セルフカストディウォレットを基盤に、ユーザーの自己保有資産から適法に預入資産をレンディング等の運用へとアクセスする導線を有し、ウォレットと連携するクレジットカードの提供による決済市場への事業推進を行う、Slash Vision が、当社の暗号資産金融事業と高い親和性を持ち、当社が目指す金融サービスのカスタマーエクスペリエンス（CX）の向上に資すると判断しました。

このたびの資本業務提携は、業務面の連携に加えて当社から Slash Vision への出資を通じ、プロダクト連携のスピードとコミットメントを高め、将来的なレンディング事業を含むイオレの金融サービスとの接続を見据えたユーザーベースの拡大と収益機会の創出を企図しております。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 資本提携の内容

当社は第三者割当の方法で、**Slash Vision** の普通株式 **8,082** 株を取得します。本株式取得は、**2025 年 10 月 31** 日に実行される予定であり、取得予定価額は **1,361,817 USD** (約 **204** 百万円) です (今ラウンド終了時見込み取得割合、**5.05%**)。

(2) 業務提携の内容

本提携は、**Slash Vision** が提供するセルフカस्टディ型ウォレットおよび日本初のステーブルコイン対応クリプトクレジットカード機能と、当社が推進する暗号資産レンディングを中心とした金融サービス群を有機的に連携させるものです。これにより、当社にとっては新たなユーザー接点の獲得、サービス利用機会の拡大、エンゲージメントの向上を実現し、中長期的な事業価値の向上につながります。

具体的には以下の取り組みを進めてまいります。

①レンディング接続の設計 (収益ドライバーへの直結)

ユーザーが自身のウォレットに保有する資産を、当社が展開するレンディングサービスにスムーズに接続できる仕組みを共同開発します。これにより当社にとっては安定的なレンディング原資の確保と収益機会の拡大が可能となり、ユーザーにとっては自身で管理するウォレット内でシームレスにイオレの展開するレンディングサービスへアクセスできる導線が整備されます。

②円からステーブルコイン (USDC,JPYC 等) へのオン／オフランプ※2 整備

日本円から **USDC** や **JPYC** など適法なステーブルコインへの交換を実現するオンランプに加え、ステーブルコインを円に戻すオフランプ機能も構築します。これにより、当社サービスを利用するユーザーが「円 ⇄ ウォレット ⇄ カード ⇄ レンディング」とスムーズに資産を循環させられる環境が整い、当社にとっては新たな資金流入チャネルの拡充と、利用頻度・滞留時間の増加が期待されます。

※2 法定通貨 (例：日本円) と暗号資産の交換に関する仕組みやサービス(資金流出入の蛇口機能)

③ウォレット×カードによるサービス導線整備 (ユーザーの入口の拡張)

Slash Vision が提供するセルフカस्टディウォレット付属クレジットカード「**Slash Card**」※3※4を起点に、当社サービスへの導線を構築し、段階的に機能拡張を進めます。これにより、当社にとっては新規ユーザー獲得チャネルの拡大と、既存ユーザーとのエンゲージメント強化が実現します。

Slash Card は従来のカードとは異なり、利用者が自己保有の暗号資産やステーブルコインを決済に利用できる「次世代金融カード」です。今後は、カード残高を利回り獲得にも活用できる仕組みを順次実装していく予定であり、これにより従来の銀行口座やカードでは得られなかった「使いながら資産を増やす」という新しい体験を提供を目指しております。この取り組みは、当社のサービス利用機会をさらに拡大し、ユーザー基盤の拡充にもつながると考えています。

さらに、**Slash Vision** と当社は共同でロイヤリティ・プログラムを開発し、両社のエコシステムにまたがるインセンティブや特典を設計します。これにより、利用者はカード利用を通じて

幅広いメリットを享受でき、当社にとってはサービス利用頻度の増加やロイヤリティ向上という効果が期待されます。

※3 【日本初】USDC 対応の国際ブランドカード「Slash Card」発行に向けた提携合意のお知らせ

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000065.000113938.html>

※4 ステ이블コインの健全な発展に向けた分析調査研究報告書 P.92

https://www.fsa.go.jp/policy/bgin/ResearchPaper_dtc_ja.pdf

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社による、金融庁リサーチペーパー

④アカウント／導線連携と Neo Crypto Bank ビジョンへの展開

当社と Slash Vision は、段階的に機能を拡張しながら、マサダプションを起こすユーザー体験の成立によって、「Neo Crypto Bank 構想」の具現化を目指します。

⑤コミュニケーション連携（運用・広報の基盤整備）

両社の役割分担に応じた対外発信・FAQ 整備を実施（表現や商標の取り扱いは合意範囲で運用）。

3. 業務提携先の概要

(1)	名称	Slash Vision Pte. Ltd.		
(2)	所在地	18 ROBINSON ROAD #20-02 18 ROBINSON SINGAPORE (048547)		
(3)	代表者の役職・氏名	CEO 佐藤 伸介		
(4)	事業内容	セルフカストディ方式で暗号資産・ステーブルコインを利用できる クリプトクレジットカード『Slash Card』の開発・提供		
(5)	資本金	1,886,611 USD		
(6)	設立年月日	2023 年 7 月 28 日		
(7)	大株主及び持株比率 (2025 年 9 月 26 日現在)	DEV VERSE PTE. LTD.		79.34%
(8)	上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態 (子会社を含むみなし連結) (単位：USD)			
	決算期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期	2025 年 12 月期 (期途中 8 月末時点)
	連 結 純 資 産	△736,207	△2,580,439	3,162,667
	連 結 総 資 産	1,875,485	4,132,461	3,238,054
	1 株 当 た り 連 結 純 資 産	△5.66	△19.82	24.30
	連 結 営 業 収 益	387,296	480,583	7,755,801
	連 結 経 常 利 益	△1,512,650	△2,044,228	5,943,103
	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	△1,512,650	△2,044,228	5,943,103
	1 株 当 た り 連 結 当 期 純 利 益	△11.62	△15.70	45.65

1株当たり配当金	-	-	-
----------	---	---	---

注 2025 年 12 月期は当社による DD に用いた監査前の数字です。当期においては、スラッシュトークンの需要の高まりによる販売数の増加等の理由により売上が増加しております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 9 月 26 日
(2) 契約締結日	2025 年 9 月 29 日
(3) 業務提携開始日	2025 年 10 月中旬 (予定)
(4) 払込日	2025 年 10 月 31 日 (予定)

5. 今後の見通し

本提携は、中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。
2026 年 3 月期の業績に及ぼす影響につきまして、今後、新たに業績に重要な影響を及ぼす開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以上